

課題解決型研究プログラム 資源循環研究プログラム

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 個別には、廃棄物処理や資源循環に関する幅広い分野を網羅した研究成果が出ている。個々の研究の貢献先を明確にし、なるべく頻繁に社会還元することが重要ではないか。高齢者ごみ出し支援ガイドブックの発行は好事例である。
- 資源循環に関わる課題全体の中での位置づけ、プログラムの全体構成やプロジェクト間の連携の実態がみえにくい。今後、個別研究を統合するような研究にもチャレンジしてほしい。

今後への期待など

- 3R 基盤技術開発の着実な成果を期待する。現存する多様な技術・プロセスや開発途上の技術等を定量的に評価できるポテンシャルにも期待したい。
- アジア各国に適用可能な廃棄物処理技術開発への貢献は高く評価できる。今後、東南アジア以外の途上国へも対象地域を拡大するとよい。
- 問題の進み方の将来予測を横軸に対策のロードマップを縦軸に示し、どのように達成させていく計画かを明確化するとよい。

主要意見に対する国環研の考え方

- ①高齢者ごみ出し支援ガイドブックについて評価をいただきありがとうございます。今後も社会変化に適応した循環型社会設計の研究を進め、多様な地域特性を吟味しながら、適宜、情報発信をして社会に還元できるよう努めます。
- ②必要性和強みを意識して個別のPJを計画して進めてきたつもりですが、より分かりやすく示せるよう努めます。PJ間の連携は、研究対象や評価手法が共通するものを中心に今後も進めたいと存じます。他の研究プログラムとの連携も適宜実施しておりますが、双方でベネフィットが表れるような連携を進めるつもりです。
- ③技術開発に多くのリソースやエフォートを割けない状況ではありますが、実用化を目指して努力する所存です。同時に、現存の技術及びその組合せである技術システムの評価も進めていきたいと思えます。
- ④東南アジア諸国を中心に現地調査と評価を実施し、アジア圏(ほぼ東アジアから南アジア)にカスタマイズ可能な廃棄物処理システムの基軸モデルの提示を目指しています。西南アジアやアフリカも今後の重要な地域と理解しますが、限られたリソースとエフォートのために関連研究の参照などの形とさせて頂くことをご理解頂きたいと思えます。
- ⑤問題の将来予測と対策ロードマップについては、5月に策定予定の第4次循環基本計画の検討に本研究プログラムの研究者が深く関わっており、そちらで提示されます。研究プログラム側では、その背景となる根拠データをモデル計算結果などとして提示するという棲み分けで研究を進めております。